

## 令和 3 年度第 1 回介護保険運営協議会等質問書に対する回答について

お忙しい中、資料の確認いただき、誠にありがとうございました。  
ご質問いただいた内容につきまして、下記のとおり回答いたします。

## 質問 1

## 資料 2 の (1) 居宅介護予防サービス

介護予防訪問リハビリテーション（回／月）で計画値の設定が低かったとのことですが、急に増えてきた理由はありますか。

人数と回数から考えると、一人当たり約 2 日に 1 回ぐらいの割合でサービスが実施されているので、今後も大きく変動があるのではないのでしょうか。

実績に応じた今年度の計画値はどれぐらいですか。

## 回答 1

平成 30 年度と令和元年度につきましては、利用者数はほぼ計画値通りとなっていることから、利用回数の増となり、令和 2 年度につきましては、新型コロナウイルス感染予防の観点から、通所リハから訪問リハに変更した方がいたためと推察しています。

また、予防訪問リハについては、元の数字が小さいことから、利用者数・回数が一人増えただけで、大きな変動が出てしまうこととなります。

介護サービスは、第 7 期計画期間（平成 30 年度～令和 2 年度）及び第 8 期計画期間（令和 3 年度～令和 5 年度）ともに、前年度までの実績を考慮して、利用人数・回数を作成しているため、今年度の計画値は、第 8 期計画書の p. 71 以降に記載された値となります。なお、今年度の上半期の実績については、第 2 回の介護保険運営協議会にて報告いたします。

## 質問 2

介護予防訪問リハビリテーション（回／月）平成 30 年度と令和元年度計画対比と介護予防短期入所療養介護令和元年の計画対比の値が「8 期計画書」の P14 と違ってしています。

## 回答 2

計画書の数値の実績値は小数点第 2 位を四捨五入しております。一方、介護保険運営協議会の資料では、見かけ上は小数点第 1 位までの表示となっておりますが、実際は四捨五入をしておらず、小数点第 2 位以降も続いています。その関係もあり、計画対比が一致しておりません。次回以降は、小数点第 2 位四捨五入で統一いたします。

## 質問 3

資料 1 の 2. 要介護（要支援）認定者（令和 2 年 3 月）合計 1560 名と資料 3 の 2. 要介護認定者数 R02. 4 1572 名と 12 名の差が出ています。この差は 1 か月の差が影響しているなら 4 月末に統一できないのでしょうか。できればわかり易いと思います。他に理由がありますか。

## 回答 3

統一する場合は、年度での報告となりますので、3 月末時点での認定者数が優先されます。そのため、資料 1 の 2 は残し、資料 3 を削除することとします。資料 3 につきましては、過去の運営協議会が 6 月に開催されていたことから、その時点での最新の情報が 4 月であったため、この資料が作成され、同月での比較が必要であることから、積み重なり今に至っております。

## 質問 4

2. 一般介護予防事業の地域の通いの場（18 箇所）、令和 2 年度 130 回コロナで随分回数が減ですが地域によって格差はありますか。

18 箇所それぞれの回数わかれば教えてほしいと思いました。

## 回答 4

別紙「令和 2 年度地域の通いの場開催状況」を参照してください。

## 質問 5

ワクチン済みの方が増えてきている中、これからの感染予防の対応など変更点があれば知りたいです。

## 回答 5

参加可能人数は、原則施設の収容人数までとなります。マスクの着用や手指消毒、水分補給以外の飲食の禁止、人と人との間隔を空ける等基本的な対策は変更ありません。

## 質問 6

資料 6-2 読ませていただきました。

以前に比べ〇が多くなっています。今後の課題も多いと感じました。今後はどの項目を〇にしていく取り組みをされるのか、教えてください。

## 回答 6

自主支援・重度化防止の基本指針の作成や、高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業の実施により介護予防に関する項目の加点ができるようにしていきます。

## 質問 7

地域包括支援センター運営協議会の資料 A

6. その他（5）町高齢者サービス実態調査（）の人数は何をあらわしていますか。

## 回答 7

カッコ内の数値は前年度の人数となります。

## 質問 8

令和 2 年度に認知症サポーター養成講座で多くの方が受けられていることが分かりました。今年度はコロナで減ですがコツコツと養成を続けて戴けたらと思います。

## 回答 8

令和 3 年度は、町職員・中学生等より多くの人に講座を行っており、今後も様々な方に受講して頂けるよう、周知を行います。

## 質問 9

地域ケア会議 まとめは実施内容がよくわかり、理解できました。  
リハビリの専門職（理学療法士）や栄養士などの参加があればと思いました。

## 回答 9

必要な職種の参加が可能か包括支援センターと検討をさせていただきます。

## 質問 10

今後、書面だけでなくリモートでの会議も検討してください。

## 回答 10

次回の運営協議会は、緊急事態宣言が発令されていなければ、書面ではなく、会議室での開催を行う予定です。万が一、次回の開催時期も、緊急事態宣言が発令されていた場合は、皆様方の賛同が得られれば、Web 会議での開催も検討いたします。

## 質問 11

今回のコロナ禍において、地域の通いの場等のネットワークや活動はその多くがほぼ機能を停止してしまったかと思います。特に高齢者においては、運動や交流の機会が失われ、身体的・精神的な機能の衰えが進行してしまった例もあるように思います。今後、コロナウイルス感染の拡大期が再び訪れることを想定し、町としてなんとか地域の活動を少しでも継続できるように検討している施策等があればお示しいただきたいと思います。

## 回答 11

感染症拡大に伴う公共施設の利用制限等により通いの場が休止となる中、感染症に配慮した屋外での活動や人との接触を減らしつつの取組を行っている地区もあります。町としては、このような取組を他地区とも共有し、自主的な活動を支援してまいります。